

令和7年度 第5回摂津市立別府小学校 学校運営協議会 議事録

令和8年2月8日(火) 18:30~20:15

出席者: 校長、教頭、地域代表、保護者代表、

学校教育課長、NPO法人担当者(コミュニティ・スクール推進業務CO)

場所: 別府小学校 学習センター

1. 会長あいさつ

会長より、本日は、校長から学校の現状や今後の方針について説明を受け、委員として総合的な視点で意見交換を行うこと、また「べふっこ未来基金」による視聴覚室カーペット施工が実施段階に入ることから、その進め方についても協議したいとの話があった。

2. 学校の様子について

校長より、学校経営に関する評価および令和8年度学校経営計画について説明を行う旨が伝えられた。

続いて教頭から、写真を用いて学校生活の様子について報告があった。

- ・ ICT機器を活用した体験入学や読み聞かせ
- ・ 代表委員会による挨拶運動
- ・ 防災学習・避難訓練
- ・ 校内音楽会や体育委員会主催の行事
- ・ 授業や休み時間における子どもたちの主体的な活動

これらの取組を通して、子どもたちが意欲的に学び、学校生活を楽しんでいる様子が共有された。

また、登校時刻を8時15分に早めた試行については、朝の準備が落ち着いて行えるようになったという児童の声が紹介される一方、教職員の勤務体制への配慮が必要であることも確認された。

3. 令和7年度 学校経営にかかる評価

校長より、令和7年度の学校経営に関する評価について説明があった。

- ・ 令和6年度は暴力行為や不登校が多く、安全・安心の確保が課題であったこと
- ・ 令和7年度は「つながり」「あそび」「寛容」「子どもが主役」「信じて委ねて任せる」を大切にした取組を進めてきたこと
- ・ 子どもの居場所づくりや家庭との連携を丁寧に行ってきたこと

その結果、

暴力行為件数や新規不登校児童数の減少、「学校が楽しい」と感じる児童の増加、学力定着度の向上など、一定の成果が見られたことが報告された。

一方で、教職員アンケートからは「職場の居心地」「やりがい」に課題が残っており、情報共有や対話の充実が今後の課題として示された。

4. 令和8年度 学校経営計画について

令和8年度に向けた学校経営の方向性について説明があった。

- ・ 教職員同士の対話と協働を生む組織づくり
- ・ 委員会制の導入による主体的な取組
- ・ 体験活動や人との出会いを大切にした学びの充実
- ・ 学年を超えた交流の推進
- ・ 家庭訪問を通じた保護者との信頼関係づくり
- ・ 教職員の働きやすさと心理的安全性の確保

委員からは、家庭訪問に対する教職員の不安への配慮や、生成AIを活用した業務効率化の可能性などについて意見が出された。

5. べふっこ未来基金 視聴覚室カーペット施工について

視聴覚室カーペット施工の進め方について説明があった。

- ・ 施工は2月中旬を予定
- ・ 事前の材料搬入および安全対策を実施
- ・ 寄付者や地域の方が参加できる「貼り体験」を計画
- ・ 詳細な時間や動線については改めて周知する

基金の範囲内で対応可能であることが確認された。

6. まとめ

本協議会では、

- ・ 子どもたちの落ち着きと学びの充実
- ・ 教職員の働き方や組織づくりの課題
- ・ 「べふっこ未来基金」を通じた地域・学校・保護者の協働

について、具体的で前向きな協議が行われた。

今後も「子どもが主役」「すべての子どもに居場所がある学校」をめざし、学校・家庭・地域が連携した取組を進めていくことが確認された。